

公開実用 昭和59—

129815

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭59—129815

⑬ Int. Cl.³
A 41 D 21/00
H 04 R 1/10

識別記号
1 0 1

庁内整理番号
7149-3B
B 6507-5D

⑭ 公開 昭和59年(1984)8月31日

審査請求 未請求

(全 頁)

⑮ 耳環い

宝塚市逆瀬川2丁目10番61号

⑯ 出願人 小田原雅文

⑯ 実 願 昭58—21431

宝塚市逆瀬川2丁目10番61号

⑯ 出 願 昭58(1983)2月16日

⑯ 代理 人 弁理士 棚谷安

⑯ 考案者 小田原雅文

BEST AVAILABLE COPY

明細書

1. 考案の名称

耳覆い

2. 実用新案登録請求の範囲

ヘッドホーンまたはヘッドホーン型の防寒用耳カバーの耳当部および／またはその近接部に、動物類の耳、鳥、蝶類の羽根、昆虫類の触角または童話の主人公もしくはその他所望の縫いぐるみ等における特徴的な耳に模した装飾を施してなる耳覆い。

3. 考案の詳細な説明

本考案は耳覆い、殊にヘッドホーンまたはヘッドホーン型の防寒用耳カバーに特徴的な装飾を施してなる趣味的、意匠的に優れた耳覆いに関するものである。

最近若者間で、高性能再生専用カセットステレオ（例えばソニー製「ウォークマン」または松下電気産業製「ワールドウェイ」など）を携行

し、例えば通勤途上等の戸外で好みのミュージックを楽しむことが流行っている。もちろん、これらのステレオには専用のヘッドホーンが付いており、このヘッドホーンを通して好みの音楽を楽しむものである。

しかしながら、これら公知のヘッドホーンは専ら機能的面のみからデザインされており装飾的または趣味的感覚にはやゝ欠けているものである。

また、ヘッドホーン型の防寒用耳カバーもシーズン中子供達に愛用されているが、これもデザイン的には機能性のみが優先されており、主として子供達向のものであるにもかゝわらず愛玩的要素は左程感じられない。

本考案はこのような状況に鑑して提案されたものであり、ヘッドホーンまたはヘッドホーン型の防寒用耳カバーに特徴的な装飾を施して意匠的、趣味的さらには愛玩的要素を付加した耳覆いに関するものである。

すなわち、本考案耳覆いはヘッドホーンまたはヘッドホーン型の防寒用耳カバーの耳当部および

／またはその近接部に、動物類の耳、鳥、蝶類の羽根、昆虫類の触角または童話の主人公もしくはその他所望の縫いぐるみ等における特徴的な耳に模した装飾を施したものである。

次に添付図面により本考案を具体的に詳説する。

第1図は本考案をハンディータイプのカセットステレオのヘッドホーンに具現した場合を示すものである。第1図に例示するように本考案耳覆いは、ヘッドホーンの耳当部、すなわち、左右のレシーバー部1A、1Bおよび／またはその近接部、すなわち、レシーバービーム2の適宜箇所に動物類の耳（図面の例では哺乳動物－牛、豚、馬など）を模した装飾3A、3Bを施したものである。装飾3A、3Bはレシーバー部1A、1Bまたはレシーバービーム2に対して固定式でも、また着脱自在としてもよい。また、装飾3A、3Bはプラスチック、ゴム、布、皮革または化学繊維等任意の素材で作ることができ。なお、図中4はカセットステレオ本体を、また5はリード線をそれぞれ示すものである。

前記装飾3A、3Bは第1図～第4図に例示した哺乳動物の耳以外にも所望により鳥、蝶類の羽根、昆虫類の触角または童話の主人公もしくは種々の縫いぐるみ等の耳など任意の形状にアレンジすることができる。すなわち、第5図、第6図はネズミに模した場合を示し、また第7図、第8図は鳥の羽根を型取ったものである。

本考案耳覆いは以上のような構成を有し、これをヘッドホーンとして着装すると第2図～第8図に示すように一見自分が動物、鳥、昆虫または童話の主人公さらには縫いぐるみ等に変身したかのような気分となり、使用者に楽しい夢と希望を与えるなどその趣味的効果には甚だ大きなものがある。また、意匠的にも単なるヘッドホーンとしての機能性のみならず愛玩的要素も付与することとなり子供達、特に女の子には好奇の対象として迎えられるものである。

以上主としてヘッドホーンの場合について説明したが、これをヘッドホーン型の防寒用耳カバーに適用しても同様の作用、効果が達せられること

はいうまでもない。

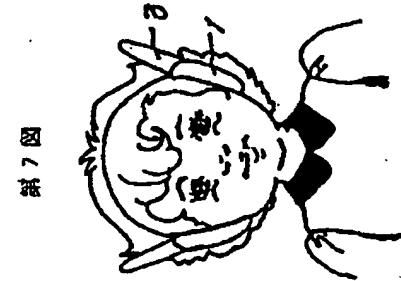
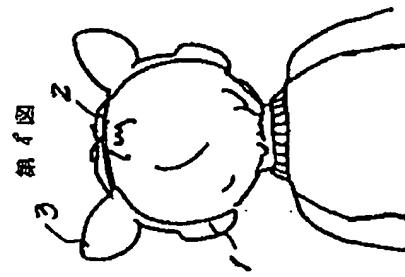
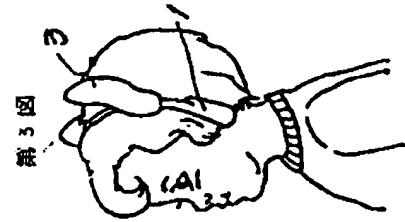
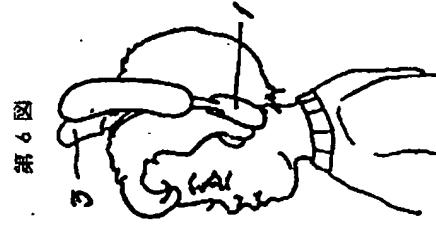
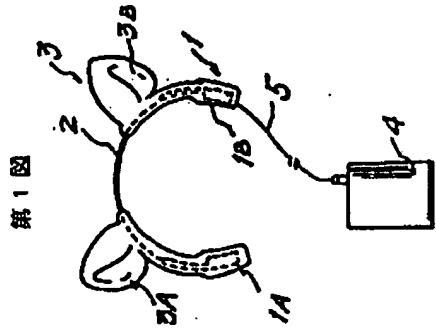
4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の耳覆いをヘッドホーンに具体化した場合を示す正面図、第2図はその使用状態を示す正面図、第3図は同側面図、第4図は同背面図、第5図～第8図は本考案の他の実施例をその使用状態における正面図と側面図として示した図である。

1 : レシーバー部	2 : レシーバービーム
3 : 装飾	4 : カセットステレオ
5 : リード線	

(出願人 小田原 雅文)

(代理人 弁理士 精谷 安)



102
米國59-129815
代理人 ベロ士 倍谷 安

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.